

## For the Society

私たちは社会と共生する  
「良き企業市民」として  
さまざまな企業活動を通じ  
継続的に社会に貢献していきたいと  
考えています。

### INDEX

- 27 お取引先の皆様とともに
- 28 地域社会の皆様とともに
- 30 社員とともに
- 35 株主・投資家の皆様とともに

# お取引先の皆様とともに

「お客様第一主義」を合言葉に、お取引先の皆様の幅広いニーズにきめ細かく対応できるよう努めてまいります。

## お客様サービス向上への取り組み

### ●お客様満足度調査

定期的に「お客様満足度調査」を実施しています。当社の営業活動全般の満足度を調査し、回答結果をもとに問題点の改善を行っています。今後も定期的に調査を行い、お客様の満足度向上に取り組んでいきます。

### ●お取引先様への情報提供

主に歯科関連のお取引先向けに「アサヒ掲示板」を発行しています。アサヒ掲示板には貴金属の需給動向や医療についてのコラムなどを掲載し、情報提供を行っています。



アサヒ掲示板

### ●公正取引に関する取り組み

グループ倫理綱領を定め、役員および社員に対して収賄や反社会的勢力との関係を持つことを禁止しています。

#### アサヒホールディングスグループ倫理綱領（抜粋）

##### ■私的利益誘導の排除と企業利益の保全

・購買等取引において、価格・品質・納期面で最適な取引先の選定を妨げるような影響力を行使してはならず、また取引先の代理人となることはできない

##### ■節度ある会食・接待および贈物

・取引先や顧客に金銭を要求することも、受け取ることもしてはならない  
 ・取引先や顧客に賄賂となるような金銭や贈物をしてはならない  
 ・食事や接待を受ける場合および行う場合はいずれも、上位者の事前承認があることが原則であり、またその場所や内容は高価なものにならないようにする

##### ■安全・環境・地域社会の重視

・反社会的な勢力や活動とは一切の関係ももたず、いかなる取引も行わない

## アサヒプリテックの品質保証体制

品質保証部門が中心となり、営業部門、技術開発部門、製品製造部門が合同で「品質保証会議」を開催しています。この会議を通じてお客様の声や市場の動向などを共有化し、お客様満足度向上に取り組んでいます。

また、お客様により安心・満足していただける製品を提供するためにISO9001を取得し、品質マネジメントシステムの継続的改善・品質の維持向上に努めています。さらに当社は「グリーン調達」や欧州の化学物質規制法であるRoHS指令にも配慮し、環境負荷軽減に努めております。



ISO9001 認証書

ISO 9001 認証取得
アサヒプリテック(株) テクノセンター 福岡工場 愛媛工場 埼玉工場(2009年度取得予定)

## 情報漏洩に対する危機管理体制

従来から情報記憶メディアにおける写真・複製、社外持ち出し禁止を徹底し、社内外における情報管理を強化しています。営業員が使用しているパソコンにはロック機能などのセキュリティ対策を施しており、万一パソコンの紛失や盗難にあった場合でも、容易に操作ができないようにしています。また、埼玉・千葉・尼崎に設置しているリサイクルセンターでは、パソコンの廃棄にともなう情報漏洩対策としてデータ消去サービスを行い、事業活動を通じて個人情報保護に貢献しています。

# 地域社会の皆様とともに

全国で事業活動を展開している当社にとって、地域の皆様からのご理解とご支援は不可欠です。企業市民として社会と共生する企業であり続けるために、さまざまなかたちで地域に根ざした社会貢献活動を行ってまいります。

## 活動事例紹介

### ●神戸大学での特別講義

2008年10月、神戸大学にて「持続可能な社会と企業経営」をテーマに、経済学部、経営学部の学生を対象に、寺山社長による特別講義を4回行いました。受講した学生は延べ1,000名を超え、毎回熱心に聴講していました。講義では、経営者としての信条、「持続可能な社会」における当社の位置付け（貴金属リサイクル事業、環境保全事業の重要性）、社会貢献活動などについて説明し、地球環境問題や資源のリサイクルについて、広くかつより深い関心を持っていただくことができました。



特別講義

### ●国際技術協力のための研修実施

北九州事業所は（財）北九州国際技術協力協会からの要請により、インドやネパールなど、南アジアからのJICA技術研修員に廃棄物処理事業に関する研修を実施しました。参加者は自国で産業環境対策や廃棄物管理に携わる若手環境行政官の方々に、日本の環境法規制や当工場の廃棄物処理システムについての説明に真剣に耳を傾けていました。講義終了後、焼却炉や有害廃液処理施設などの見学を行い、「工場の高度な環境対策と効率的な設備運用に感心した。」という感想をいただきました。



施設見学（中央操作室）

### ●地域環境美化への取り組み

岡山営業所は5年前から、社団法人 岡山県産業廃棄物協会岡山東支部が主催する地域環境クリーン化事業に参加し、環境美化に取り組んでいます。当日は、廃棄物運搬用として業務用トラックを提供し、行政機関やボランティアの方々とともに林道周辺に散乱したビン・カン・金属類、家電製品などの不法投棄ごみを回収しました。廃棄物を適正に処理せず放置することは、景観を損なうだけでなく、生活環境に重大な影響を及ぼします。環境保全に携わる事業者として、不法投棄のない地域環境の維持を強く願っています。



不法投棄ごみの回収

## 事業活動を通じた社会貢献

財団法人8020推進財団の8020運動（80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動）の趣旨に賛同し、活動支援を行っています。

また、活動協力団体の趣旨に賛同された歯科医院から集められた撤去冠を当社が金・パラジウムなどの貴金属にリサイクルしています。それらの貴金属が売却された純益が各協力団体の活動支援資金として役立てられています。

日本口唇口蓋裂協会より当社の日頃の活動支援に対して、感謝状が授与されました。日本口唇口蓋裂協会は歯科医院からの寄付金を先天的に口に障害を持った子供たちのために活用しています。



感謝状

### <主な活動協力団体>

●財団法人8020推進財団



●特定非営利活動法人

日本口唇口蓋裂協会

(口唇口蓋裂など、口に障害を持つ子供たちへの医療援助)



●特定非営利活動法人

メドゥサン・デュ・モンド ジャパン

(戦争・自然災害などで苦しむ人々への医療援助)



世界の医療団  
メドゥサン・デュ・モンド



### TOPICS

#### 「環境フェア in KOBE」に出展

2008年5月に開催された「環境フェア in KOBE」に出展しました。本展示会は神戸G8環境大臣会合の開催に合わせて開催されたもので、公的機関、企業、団体による最先端の環境技術や取り組みが紹介されました。当社ブースではパネル展示やビデオ上映、デモ機の展示を行い、事業を通じた環境貢献活動をPRしました。



# 社員とともに

「人間尊重」という経営理念のもと、個性を尊重し仕事を通じて自己を磨き、生きがいと連帯感のある明るい職場を形成することを目指しています。

一人ひとりが持つ強みを最大限に引き出し仕事に活かせるよう、また社員が自分の仕事に「やりがい」「働きがい」を持ち仕事に取り組めるよう、さまざまな取り組みを進めています。

## 安心して働ける環境づくり

### ワークライフ バランス

やりがいのある仕事と充実した私生活のバランスをとりながら、持っている能力を最大限に発揮して人生を送ることは、社員だけでなく会社にとっても大事なことです。私生活において重要なものは、家庭や健康、スポーツや趣味など個人の価値観によってさまざまです。当社は、社員が私生活と仕事のバランスをとれるようにサポートしています。

#### ●リフレッシュホリデー

入社2年目から毎年、3～5日の連続休暇を取得する制度で、土日を含めると9日間連続の休暇が取得可能となり、家族との旅行や趣味に利用しています。



#### ●勤務時間管理

適正な業務量と適正な勤務時間を目指し、全員に個別面談を行い、社員一人ひとりのワークライフバランスを鑑みた勤務実態管理体制の構築と、個人別に勤務環境の改善へ向けた指導を実施しています。

#### ●メンタルヘルスケア

職場や生活に対する不安や悩み、ストレスを感じている労働者の割合は年々増加しています。社員の生産性や活力の向上には心の健康が不可欠であるとの認識から、産業医による定期的なメンタルヘルスケアに関するセミナーを行っています。



メンタルヘルスケアセミナー

#### ●育児休業制度

出産や育児などと、仕事との両立を支援しています。育児休業制度や短時間勤務により社員のライフスタイルに合わせた働き方をサポートしています。

●社員意識調査

3年に一度、全社員を対象に「意識調査」を実施しています。この調査は社員の会社に対する満足度を客観的に把握するために行い、調査結果は組織と人材のさらなる活性化に役立っています。

●障がい者雇用

障がいを持つ社員が健常者と同じ職場で各種業務に従事しています。



休憩時間の歓談風景 (尼崎リサイクルセンター)

今後も、バリアフリー施設の拡張など働きやすい環境整備を行い、障がい者雇用の拡大を図ってまいります。



バリアフリーストイル

●ゴールデンファイターズ応援ホームページの開設

アメリカンフットボールクラブチーム「ゴールデンファイターズ」は1部であるXリーグに所属しています。ゴールデンファイターズは2006年に2部に昇格、2007年には1部に昇格し、2009年度も同リーグにてプレーを行います。今後とも皆様のあたたかいご声援をよろしく願います。



2008年よりゴールデンファイターズのホームページをリニューアルし、試合結果や選手紹介、ブログなどを掲載しています。



Copyright © 2008 ASAHIPRETEC GOLDEN FIGHTERS. All Rights Reserved.

ゴールデンファイターズHP  
<http://www.asahipretec.com/gf/>

# 人材育成

## 人材育成に関する考え方

社内のいかなる階層・職種にあっても専門性を重んじたプロフェッショナル人材であることを目指し、独自の資格制度や社内教育カリキュラム、またASG活動とよばれる自発的な小集団活動などを実施しています。さらに、社員一人ひとりの業績貢献度を公平、公正に評価する成果主義人事制度を核に、7つの行動指針(収益マインド・CSマインド・情報マインド・協業マインド・CSRマインド・成長マインド・リスクマインド)を掲げ、チャレンジ精神を持った人材育成に努めています。

### ●社員研修制度

入社時期の習熟度に合わせた研修(入社時研修・ステップアップ研修・パワーアップ研修)と階層別の選抜型人材育成研修(ジュニアリーダー研修・マネージャー研修・リーダー研修)を実施しています。そのほか、部門別研修や技

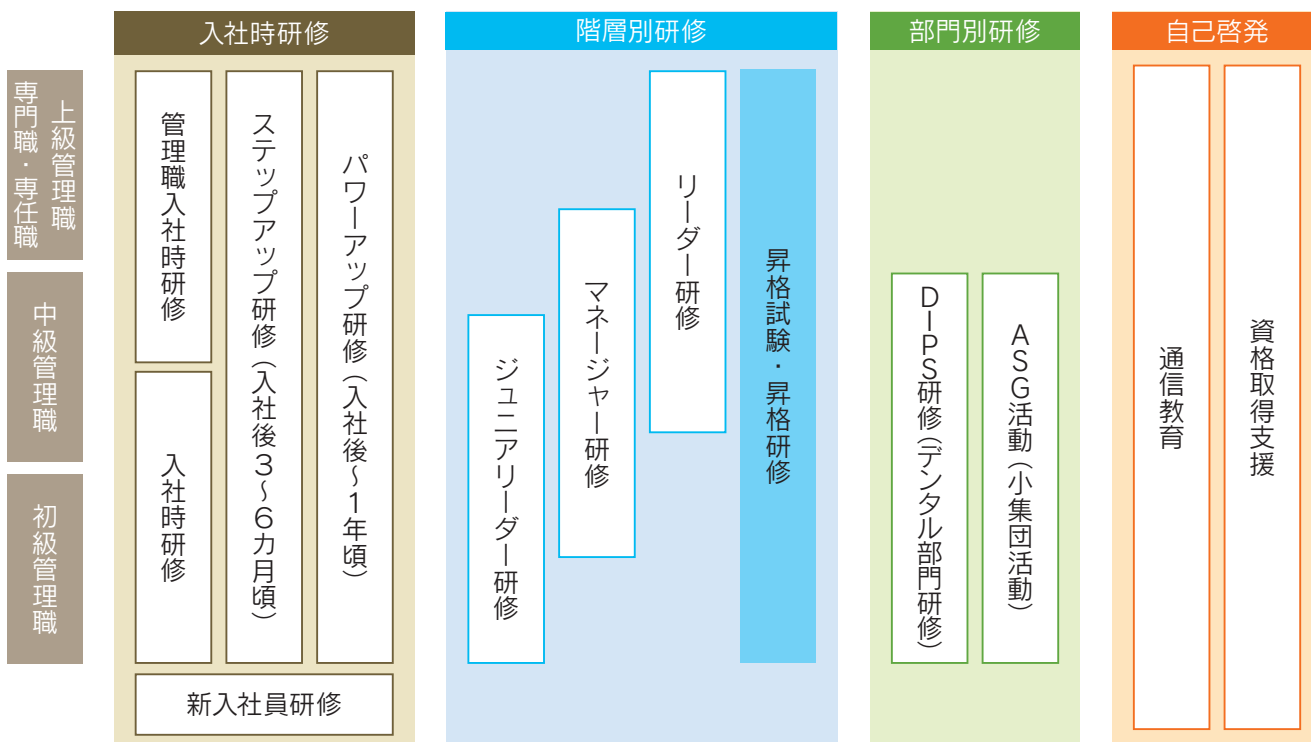
能教育を通じて、個人がプロフェッショナル人材として必要な実務知識を習得し、専門能力を培っていくことができる研修プログラムを設けています。



ステップアップ研修



パワーアップ研修

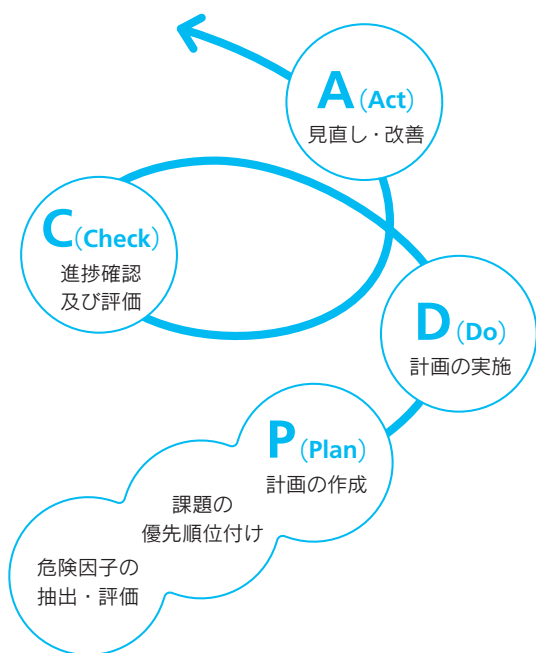


## 安全衛生活動の推進

### OSHMS への取り組み

災害を減少させるには、職場に潜在する無数のリスクに着目し、事前にリスクを減少させ、災害の芽を摘み取ることが重要です。当社は、労働安全衛生マネジメントシステム（以下「OSHMS\*」）の考え方を取り入れ、リスク低減による職場の安全衛生水準の向上を目指しています。

当社のOSHMSでは、危険・有害要因の評価をもとに『計画を立て』（Plan）⇒『計画を実施し』（Do）⇒『実施結果を評価し』（Check）⇒『評価をふまえて見直し、改善する』（Act）という一連のサイクル（PDCAサイクル）を繰り返し実施することによって、職場のリスクを軽減することを基本としています。



\* : Occupational Safety and Health Management Systemの略語

### 環境安全教育

環境安全教育は、社員研修制度の「人材育成プログラム」のなかで実施しており、安全に仕事を行うための心構えや、危険物の基礎知識などを教育しています。また、このなかでは「就業中に火災が発生した場合にどう対応するか」などの具体的な緊急事態を想定して、グループ討議を行うロールプレイ形式の教育も取り入れており、各人が実際の現場で取るべき行動を正しく認識できるよう工夫しています。



環境安全教育

現場サポートにおいては、安全衛生に関する専門スタッフにより、営業・工場現場でのOJTを実施しています。作業員・担当者への安全指導により、職場環境安全衛生の向上を図っています。



工場研修

## 緊急事態の対応

工場での安全対策として、事業活動上のリスクを洗い出し、拠点ごとに「安全推進責任者」を決定し、予防策を講じるとともに、万が一問題が起こった場合には、迅速に対応する体制を整えています。

また、緊急事態発生時の社内外への対応として「緊急事態対応管理マニュアル」を完備し、かつ、事故・災害発生初期の対応要領を記載した「事故・災害対応の手引き」を配布し、全社員に常時携帯を義務付けています。

## 社員総会の開催

社員総会を毎年開催しています。社員総会では社長メッセージ、各本部長の前期業績と当期重点課題の発表や、選抜チームによるASG発表会・経営陣と社員のディスカッションなどを行っています。



社員総会

## 安全に関する表彰活動

毎年、安全管理に貢献した事業拠点や社員を対象に社員総会の場で表彰活動を行い、安全意識の高揚に努めています。



安全表彰

## 小集団活動による 活力ある職場形成

同一職場内の社員による自発的・主体的な参加のもと、ASG活動(Asahi Small Group 活動の略)を行っています。活動を通して創意工夫を行い、職場内の問題解決を図っています。優れた取り組みを行ったグループには社員総会で表彰を行っています。

### INTERVIEW ASG活動に参加して



ASG活動 神戸事業所  
管理グループリーダー

村瀬 泰斗

私が所属する神戸事業所管理グループのチームは、営業担当者が感じている問題点を改善していく取り組みを行いました。そのなかの活動の一つである「電子メールによるタイムリーな連絡手段の構築」が、全国の営業所に水平展開され好評を得たことで、最優秀賞を取ることができ、副賞として海外旅行にも行かせていただきました。

ASG活動は、仕事をしているだけでは不足しがちなコミュニケーションが活発になり、グループが一体感を持つことができる有意義な活動です。今年も充実した活動に終わらせることができました。毎年テーマは変わりますが、この活動は継続していきたいと考えています。

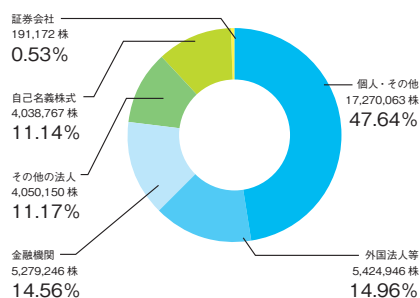
# 株主・投資家の皆様とともに

事業活動を通じた企業価値の向上と安定的な利益還元をめるとともに、迅速かつ正確な企業情報の発信を行っています。

## 株主構成

株主総数は2009年3月末で約11,306人です。所有者別株式分布状況では、個人・その他47.64%、外国法人等14.96%、金融機関14.56%、その他の法人11.17%、自己名義株式11.14%、証券会社0.53%となっています。

### 所有者別株式分布状況

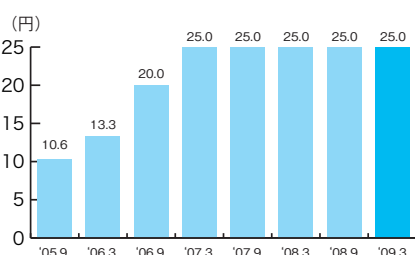


2009年3月31日現在

## 株主還元の基本方針

利益配分に関しては、「安定した収益力の維持とさらなる成長によって企業価値の向上を図り、配当などを通して株主の皆様への期待に応えること」を基本方針としています。一方で「成長分野への投資や新規事業開発などに備えるため、内部留保の充実を図ることも重要である」と考え、株主資本配当率(ROE)と配当性向を乗じた純資産配当率(DOE)を株主還元の指標としています。以上の基本方針のもと、株主配当につきましては収益構造の強化および成長に向けた戦略的な事業投資を行いながら、引き続き株主資本の効率的な運用に努めます。

### 1株あたり配当金の推移



## ホームページのリニューアル

持株会社制への移行にともない、新たに「アサヒホールディングス」、「アサヒプリテック」、「ジャパンウェイスト」各社のホームページを制作しました。親しみやすく見やすいデザインへ変更し、アサヒホールディングスのホームページに設けたIRサイト内では、財務情報や配当情報などのメニューを追加しました。



IRサイト：<http://www.asahiholdings.com/ir/>

## 「2008 Sustainable Business 20」に選出

当社は、社会・環境分野における著名な投資アナリストなどが選ぶ「2008 Sustainable Business 20」において、持続可能な社会実現のために先導的な役割を果たしている企業20社の内の1社として選出されました。Google、IBM、Philips Electronicsなどとともに、当社は2008年度唯一の日本企業として選定されました。